

平成30年度全国高等学校総合体育大会

にーまるいちほち

2018 彩る感動 東海総体



2018



翔べ誰よりも高い東海の空へ

©Inter High

マスコットキャラクター ウイニンくん

〈開催期間〉2018年7月26日(木) ⇒ 8月20日(月)

〈総合開会式〉2018年8月1日(水) 三重県営サンアリーナ

インターハイ
©Inter High

「平成30年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ)」

全国高等学校総合体育大会(インターハイ)は、高校生最大のスポーツの祭典で、今年7月26日から8月20日まで三重県を中心に東海ブロック及び和歌山県で開催します。三重県では、昭和48年以来、45年ぶりの開催となり、総合開会式をはじめ14競技15種目を実施します。

(提供: 三重県)

目次・主な内容

■ 新年のご挨拶(小倉会長)

2

■ 新年メッセージ(榊原日本経団連会長)

3

■ 新年の挨拶(三重県知事)

4

■ 年頭のご挨拶(三重労働局長)

5

■ 三重経協News

6

■ 新年賀詞交換

15

■ 三重労働局News

21

■ 新会員の紹介

22

■ 委託事業News・事務局News

23

■ 業務日誌

24



新年のご挨拶

三重県経営者協会

会長 小倉 敏秀

あけましておめでとうございます。

会員の皆様方には、健やかに麗しく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は当協会の事業活動につきまして、格別のご配慮を賜り、心よりお礼申し上げますとともに、今年も変わらぬご支援を賜ります様お願いいたします。

さて、昨年はお菓子の祭典としておよそ4年に1度、全国各地を回って開催されている菓子博が4月～5月にかけて伊勢市で開催されました。一昨年の「伊勢志摩サミット」に続く大規模イベントであり、24日間で58万4千人が来場し、経済効果は86億8,200万円と発表されました。

全国のお菓子を味わいながら、三重県の魅力を知っていただく絶好の機会になったと感じております。

最近の経済情勢は、日経平均株価が昨年9月以降の上昇で本格的に2万円を上回り、10月2日から24日にかけては史上初の16日間連続高を記録しました。株価上昇の主な要因は、世界同時好況と言われるなか、日本企業の業績も好調に推移していることが挙げられますが、今年も更なる上昇が期待されるところです。

国内においては、12月8日に発表された2017年7月～9月期の実質GDP（改定値）は、前期比で0.6%、年率換算で2.5%増加しました。個人消費が落ち込んだものの、海外経済が好調で輸出が増え、16年振りとなる7四半期連続のプラス成長となりました。企業の設備投資も4四半期連続プラスの1.1%増となり、人手不足への対応で省力化の投資が引き続き増えたと見られます。

このような状況下、当協会では今年も労働問題への対処のほか、会員の皆様に有益な諸活動を推進して参ります。

まずは、昨年に引き続き「働き方改革」であります。これまでも経営者協会・三重労使雇用支援機構では、働き方改革に関する様々なセミナーを開催しておりますが、今年の通常国会では、働き方改革関連法案の審議も予定されており、より具体性のある効果的なセミナー等の開催に積極的に取り組みます。一方では、人手不足から採用関係も非常に厳しい状況となっており、「労務管理改善協力委員会」においては、これらを踏まえた勉強会を中心に活動したいと考えています。

次に、女性の活躍推進ですが、「女性懇話会」は発足から8年目となり、メンバー間のネットワーク構築も一層進んでおります。今年も、活発な活動を通じて女性の活躍を応援します。

また、「障がい者雇用」については、三重労使雇用支援機構を通じて「障がい者ステップアップ推進運動」に取り組んでおります。今月23日には、「障がい者雇用事業所視察会」を労使共催で実施しました。今後もこれらの活動を通して、障がい者雇用に関する理解促進と雇用増加に繋げていきたいと思っております。

その他にも、「新入社員フォロー研修」、「階層別研修」など会員企業の皆様に役立つ教育・研修事業に引き続き注力します。

結びに、新年が皆様にとって穏やかな年になるようご祈念申し上げますとともに、会員の皆様方の更なるご理解とご協力を切にお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



－経団連会長新年メッセージ－

「GDP600兆円経済に向けて 邁進する年に」

一般社団法人 日本経済団体連合会

会長 桒原定征

2014年の会長就任以来、経団連ビジョンに掲げた「『豊かで活力ある日本』の再生」の実現に向けて、政官との緊密な連携のもと、鋭意取り組んできた。今や雇用環境は大幅に改善し、緩やかながらも極めて長期にわたる戦後最長の景気拡大が実現している。そうしたなかで迎えた2018年、今年こそ経済再生の足取りを力強いものとし、GDP600兆円経済に向けて邁進する年にしていきたい。経団連としては、主に3つの課題に焦点を当てて主体的に取り組む所存である。

第1の課題は成長戦略の推進であり、その中核となるのが、経済界が提唱した「官民戦略プロジェクト10」の推進である。そのなかでも特に、Society 5.0が重要である。Society 5.0は、IoT（Internet of Things）、ビッグデータ、AI、ロボットなどの革新技術の活用により、人々の暮らしや社会全体を最適化した未来社会を意味する。経済成長と社会的課題の解決が両立するこの未来社会の姿は、国連が掲げるSDGs（持続可能な開発目標）の理念とも軌を一にするものである。経団連は2017年秋、Society 5.0の実現を通じたSDGsの達成を柱に、「企業行動憲章」を改定した。日本が世界のフロント・ランナーになれるよう積極的に取り組んでいく。

第2の課題は構造改革の推進である。規制改革、税制改革など、企業活動をさらに促進する制度改革に取り組んでいく。また、国民の将来不安を払拭するため、社会保障制度の持続可能性確保や財政健全化の必要性を強く訴えていく。

第3の課題は経済外交の推進である。米国、欧州、中国をはじめとする主要経済パートナーの政治・経済リーダーとの政策対話等を通じて、自由で開かれた国際経済秩序の維持・強化に貢献していく。まずは日EU EPAおよびTPP11の可能な限り早期の実現を働きかけるとともに、アジア太平洋地域における貿易投資にかかる高い水準のルールづくりに向けて米国の関与を求めていく。世界経済のけん引役であるアジア諸国とも、緊密で互恵的な関係を強化していく。

さらに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の成功ならびに大阪・関西における2025年万国博覧会の誘致実現に向けて、全力で取り組んでいく。

皆様のより一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。





新年のご挨拶

三重県知事

鈴木 英 敬

明けましておめでとうございます。

三重県経営者協会会員の皆様におかれましては、県政の推進、とりわけ雇用経済行政の推進に格別のご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、第27回全国菓子大博覧会・三重「お伊勢さん菓子博2017」が開催され、58万人を超える来場者で賑わいました。貴協会にも実行委員会のメンバーとしてご参画いただき、多大なるご協力を賜りましたことに心から感謝申し上げます。

今後も「東京オリパラ」や「とこわか国体」など、三重県の魅力を発信する大きなチャンスが続きますので、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

さて、本県では、昨年12月に「ダイバーシティみえ推進方針」を策定し、一人ひとり違った個性や能力を持つ個人として尊重され、誰もが希望を持って日々自分らしく生きられる、誰もが自分の目標に向けて挑戦できる、誰もが能力を発揮し、参画・活躍できる社会の実現に向けて取組を進めていきます。

様々な方々が職場で活躍するためには、多様な働き方を可能とする「働き方改革」が急務となっているほか、若者等が企業の魅力や働きやすさ、やりがいなどを体験することを通して、人材の県内定着を図ることも大切となっています。

こうした中、貴協会においては、県が実施した「インターンシップの促進」に関して、多大なご支援をいただきました。

また、貴協会には日頃から、障がい者雇用の取組に関し、ご支援、ご協力をいただいておりますこと

も重ねまして感謝申し上げます。障がい者雇用の推進に向けて設置した「ステップアップカフェ『Cotti菜』」は3周年を迎えるとともに、一昨年12月から毎月、県内で働く障がい者が話し手となる「ステップアップ大学」を実施し、障がい者の自立と社会参加を促す取組の一つとして大きな成果を上げています。

そのほか、貴協会をはじめ、労使団体で創設された「三重労使雇用支援機構」においては、「雇用の安定」と「雇用創出」の実現にむけて、誰もが安心して働くことができる環境づくりに大いに貢献いただいているところです。とりわけ、昨年実施しました「働き方改革フォーラム」や「労使協働による結婚意識調査」については、多大なるご尽力をいただきましたことに、改めて感謝申し上げます。

本県においても、「選ばれる三重」をめざして、「働き方改革」や、若者の県内へのU・Iターン就職の促進に積極的に取り組んでいく所存ですので、貴協会におかれましては、引き続き、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、三重県経営者協会のますますのご発展と、会員の皆様のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



年頭のご挨拶

三重労働局

局長 林 雅彦

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は、三重労働局の行政運営に格別のご協力とご理解を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、県内の雇用情勢につきましては、平成29年11月の有効求人倍率が1.69倍と、平成29年5月以降7か月連続で1.6倍を上回る高水準で推移し、着実に改善が進んでおります。

しかしながら、人手不足感を背景として、企業に与える影響や国内外の経済状況に注視していく必要があるものと思料されます。

労働災害の発生については、長期的に見ると減少傾向にあり、昨年の休業4日以上死傷者数は過去最少を記録すると見込まれます。また、障害者雇用について、平成29年の障害者実雇用率は2.08倍で昨年と比較すると僅かながら改善しております。

政府は、「ニッポン一億総活躍プラン」を着実に実行し、さらに、人づくり革命と生産性革命の2本の柱の施策を具体化するため、新しい経済政策パッケージを策定しました。働き方改革についても、昨年3月に決定した「働き方改革実行計画」に基づき、早期に関連法案を提出するとともに、高度プロフェッショナル制度の創設や企画業務型裁量労働制の見直しなどの法改正を早期に図り、女性、若者、高齢者等、誰もが生きがいを感じられ、それぞれの事情に応じた多様な働き方を選択できる社会の実現が求められているところです。

こうした状況の中、三重労働局では「働き方改革の推進などを通じた労働環境の整備・生産性の向上」と「女性、若者、高齢者、障害者等の多様な働き手の参画」を行政運営の基本方針とし、雇用環境・均等、労働基準、職業安定などの各担当部署を擁する総合労働行政機関として全力で取り組んでおります。また、これらの施策を実施するに当たっては、労働局関係部署が連携を図り、労働基準

監督署及び公共職業安定所が一体となって機動的かつ的確な対応を図るとともに、三重県をはじめ、地方自治体、労使団体、その他広く地域の関係者と連携を密にしたうえで、適切かつ効率的な行政運営に努めています。

そして、「働き方改革」の推進においては、長時間労働の是正やワークライフ・バランスの実現を目指した取組と併せて、非正規雇用労働者の均等・均衡待遇の確保のための取組を行っております。今後、最低賃金の引き上げに向けて、中小企業等への生産性の向上のための支援を図るとともに、人材の確保に向けてハローワーク等におけるマッチング機能の強化を図っております。

また、職場におけるメンタルヘルス対策、ハラスメント防止対策等の実施を促し、安全で健康に働くことができる職場づくりを推進するとともに、職業訓練や助成金制度等の活用により企業の人材育成・能力開発の取組を促進しております。

さらに、女性、若者、高齢者、障害者等がそれぞれの希望に応じた働き方で能力を発揮することができるよう、誰もが働きやすい雇用環境の整備に取り組んでおります。例えば、職場における女性の活躍推進のため、企業におけるポジティブ・アクションの取組を促進するとともに、若者が働きやすい企業であることを示すユース・エール認定制度の普及を図りつつ、若者の就職支援に取り組んでおります。また、高齢者や障害者等が意欲と能力に応じた働き方ができるよう、就業機会の確保に向けた取組を推進しております。

私ども職員一同、直面する施策・課題に全力で取り組んで参る所存でありますので、本年も引き続き、ご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

最後になりましたが、貴協会並びに会員の皆様方のご健勝・ご活躍を心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

10月度理事会

10月5日（木）津都ホテル5階「伊勢東中の間」において、理事会並びに特別講演を開催致しました。当日は、33名の参加者がありました。



議長の小倉会長

1. 開会【会長挨拶】

本日は大変ご多用のところ、理事の皆様方には多数ご出席頂き、誠にありがとうございます。また、平素から当協会の事業運営につきまして、格別のご支援、ご協力を賜っておりますことを、併せて厚く御礼申し上げます。

最近の経済状況は、先月、内閣府から発表されました9月の月例報告では、緩やかな回復基調が続いており、いわゆる「いざなぎ景気」を超え、戦後2番目の長さになったのではないかと観測が示されました。指標の上では企業収益の向上や株価の上昇、また、雇用所得環境の改善が見られますが、いわゆる戦後の高度成長期の「いざなぎ景気」と比べるとまったく勢いと力強さが無く実感の伴わない印象があります。

当県においては、4月～5月にかけて「お伊勢さん菓子博2017」が開催されました。入場者数58万人、経済効果は86億円余りとの報告があり、県内経済に大きな影響をもたらしました。

今後は、来年（平成30年）の高校総体、更に平成33年には三重国体の開催が予定されております。

また、先月（9月）には、リニア中央新幹線の名古屋～大阪間の早期着工を目指し、三重・奈良・大阪の三府県知事や経済団体の代表が一堂に会して、決起集会が開かれました。当初の計画から最大8年前倒し（2045年→2037年）となり、今回、初めて大

阪も加わったことで、一層の機運の高まりも期待されるところであります。

こういった中、県内の法人企業経済予測調査における、直近3ヶ月、7月～9月の数字はマイナス基調でしたが、この先、10月～12月までの3ヶ月の見通しにつきましてはプラス基調となるデータもございまして、明るい兆しも出ております。一方、政治の世界では先頃、突然、衆議院が解散されました。慌しい野党の再編の動きもございしますが、選挙の結果にもよりますが、今後の政権運営、経済政策に懸念があるかなと思っております。

さて、今年は総会でも申し上げましたが、「働き方改革」が大きなキーワードとなっております。労働力人口の減少、人手不足は企業経営の大きな制約であります。しかしながら、このような時こそ、長時間労働を前提とした従来の働き方を見直し、多様な人材の活躍推進によって飛躍的な生産性向上を実現する絶好の機会と捉えるべきではないかと考えております。

所定労働時間の短縮ではなく、実労働時間の短縮・削減が重要であり、これらを進めるには、なんと言っても、経営者・管理者の意識改革が重要と考えます。

当初、この臨時国会に提出が予定されておりました、働き方改革に関する労働法改正案については、衆議院の解散により提出が見送られ、今後さらに議論がつくされることと思います。いずれにしても、私どもとしては、「働き方改革」に早急に対応していかなければなりません。

このような状況の下で、私ども経営者協会と致しましては、6月の総会でご承認を頂いた各種の事業について、着実に推進をして参りました。主なものだけ申し上げますと、1つ目は、「働き方改革」に関するセミナー・フォーラムの開催、2つ目は「少子化対策」として、三重労使雇用支援機構を通じ、県から受託事業として進めております「労使協働による企業の結婚支援や勤労者の結婚に関する意識調査事業」であります。調査には会員企業様にも、ご協力頂き誠にありがとうございました。現在、集

計中でありまして、結果が出ましたらご報告させていただきます。

以上が上半期における事業進捗の概要ですが、当協会の基盤強化には、会員の増強が重要であります。4月1日時点では大幅な会員数の減少となりましたが、その後、数社の入会もございました。引き続き理事の皆様方には、新規会員のご推薦やご紹介を賜りますよう、改めてお願い申し上げます。

今後も力強いご支援、ご協力を重ねてお願い申し上げます、開会のご挨拶とさせていただきます。



理事会風景

2. 決議事項

①理事交代の件

交代日 平成29年6月29日

(退任) (株)近鉄・都ホテルズ 四日市都ホテル
執行役員総支配人 長尾 修二氏

(新任) (株)近鉄・都ホテルズ 四日市都ホテル
総支配人 玉井 啓之氏

交代日 平成29年6月30日

(退任) 三重県農業協同組合中央会
会長 奥野 長衛氏

(新任) 三重県農業協同組合中央会
会長 谷口 俊二氏

②理事退任の件

退任日 平成29年9月30日

(株)鳥羽水族館

名誉館長 中村 幸昭氏

※満場一致で承認されました。

3. 報告事項

(1)平成29年度事業進捗状況

(2)平成29年度予算執行状況

※(1)(2)いずれもご賛同頂きました。

事業活動報告

◆専門家派遣・相談など支援事業

◆三重県「産・福・学」障がい者雇用情報交流会

◆大学生等インターンシップ受入企業開拓事業

◆若者ジョブアシスト事業

◆平成29年女性懇話会

◆第21期労務管理改善協力委員会

◆平成29年度「新入社員フォロー研修」

◆平成29年度「階層別研修」

◆三重労使雇用支援機構

「労使協働による企業の結婚支援や勤労者の結婚に関する意識等調査事業」

◆中部三県合同調査「平成29年度労働時間及び働き方改革に関する実態調査」

◆会員増強

※以上の状況が事務局より報告されました。

4. その他・連絡事項

・平成30年度全国高等学校総合体育大会
寄付金について

三重県教育委員会教育長 廣田 恵子氏



寄付金について説明をする廣田教育長

特別講演

相手に気持ちが伝わるコミュニケーションとは

東海テレビ放送株式会社
編成局専門局次長（アナウンサー・CSR推進） 庄野 俊哉 氏

私はバブルの最後期の好況に支えられた昭和63年に入社し主にニュース畑を歩いて来ました。当選直後の鈴木英敬知事にインタビューした際には、共に兵庫県出身実家も近いことがわかり、二元中継がスムーズに進んだ記憶もあります。

これまでに中継レポーターとして400か所以上を訪れ、津でも唐人祭りや中津軒さんの名物「メアベア」などを取り上げました。又、大相撲の担当も20年続けていますが、無口な力士のインタビューにはいつも苦勞をします。そういう風に30年アナウンサーを続けさせていただいて、鍛えられてきたのかな、と思います。

アナウンサーは緊張しないのでは、とよく言われますがむしろ逆で、私も生来口下手、人前に出るのも苦手な方です。そんな私が緊張を感じた時、演壇から降りて聞き手の皆様の近くで目を合わせ、笑って下さる人を見つけては、お互いの間にコミュニケーションを生んで緊張をほぐします。緊張は相手との間で生まれてくるもので、緊張関係があると相手に気持ちが伝わらないからです。

又、いきなり本題に入ると、緊張状態を生むことが多いですから、落語でいう「話の枕」が重要で、皆様もご自身の体験からくる話材を蓄えておいて、時々それを整理して、新しくしながら本題に入る前に使うと効果があります。

相手に気持ちを伝えるためには「伝わる声」を作ることが重要です。その為にまず、腹式呼吸を身に



講演する庄野アナウンサー

付けましょう。肩で呼吸するのは胸式、寝ているときに腹式呼吸の状態です。身に付けば楽に相手に伝わる話が出来るようになります。

二つ目は、母音を大切に話すことです。口を大きく開け、一つの音を一つの粒だと考え母音を意識して、明瞭に話すことが大切です。

三つ目は、喉を開放状態にして、大きな声を出してください。

そして四つ目に大切なのが長音です。出来る限り息を長く声を出しましょう。一息が長いと文章を読むことが楽になります。相手に伝わるコミュニケーションも深くなります。そして表情も大切です。口角を上げて喋りましょう。

早口言葉も朝礼などで取り入れていただければ、職場のコミュニケーション作りにも役立つと思います。皆さんでアナウンサーになったつもりでやってみましょう。

企業の社会貢献・CSRには、各社それぞれの形がありますが、わが社はその一つとして、中日新聞に毎日連載されている「くらしの作文」の「音読」に取り組み、ホームページに毎日掲載してあります。「音読」は脳の活性化に役立つとともにコミュニケーションを深めることに役立つと思います。

コミュニケーションが希薄になり、他人との関係をうまく構築できない、面接など重要な場面で自己表現がうまくできない若者が増えています。「相手に伝わるコミュニケーション」は重要です。技術がいる「朗読」と違い、「音読」はその意味でもこの「くらしの作文」の「音読」を活用いただければと思います。

ご清聴ありがとうございました。

（文責：事務局）



講演風景

三重経協活動報告

労務管理改善協力委員会 (11月第2部会活動報告)

11月20日 (月) プラザ洞津「孔雀の間」において、労務管理改善協力委員会11月第2部会を開催致しました。当日は55名の参加者でありました。



労管第2部会風景

(内容)

演題：「働き方改革を踏まえた実務対応と労働法改正の最新の動向」

～生産性向上を目的とする労働時間短縮の進め方～

- ・他社の事例から学ぶ働き方改革
- ・法改正を踏まえた労働基準監督署対応のポイント 他

講師：楠井法律事務所 代表弁護士 楠井 嘉行 氏



挨拶する赤荻第2部会長



講演する楠井講師

女性懇話会

12月4日 (月) に女性懇話会を津商工会議所女性会との合同で津商工会議所にて開催し、当日は34名の参加者でありました。冒頭、主催者を代表して、津商工会議所女性会会長 加瀬由美子氏より挨拶があり、その後、次の内容で開催致しました。

今回の講師は津市で美容室を経営され、その傍ら、学校の講師や心理学・コーチング・コミュニケーション学・脳科学等のインストラクターをされている(有)和貴 代表取締役 田山貴一氏をお招き致しました。通常のセミナーや研修とは異なり、随時実習を踏まえた体感型研修で、参加された方々は楽しみながらコミュニケーション術を学んでいました。

主な内容

テーマ：「人が自然と動きたくなる女性ならではのコミュニケーション術 魅力ある女性リーダーのさらなる能力を発揮せよ！」～自分を知り、強みや価値を生かし、企業を支える要になる～

講師：有限会社和貴 代表取締役 田山 貴一 氏

- ①セミナーで大切なこと
- ②記憶について
- ③しぐさについて
- ④ベーシックについて
- ⑤筆跡心理学について
- ⑥右脳&左脳について
- ⑦「気付く」力について



講演風景



挨拶する加瀬会長



講演する田山講師

平成29年度みえ・花しょうぶサミット



ディスカッション風景

主催者挨拶：みえ・花しょうぶサミット 座長 加瀬 由美子 氏（三重県商工会議所女性会連合会 会長）
三重県知事 鈴木 英敬 氏

第1部

演題：「本当に有効ながん検診とは」～乳がんの脅威から身を守るために～

講師：NPO法人三重乳がん検診ネットワーク

理事長 竹田 寛 氏



講演する竹田講師



挨拶する加瀬座長



挨拶する鈴木知事

第2部

講師：津市健康福祉部健康づくり課

保健指導担当副参事（兼）保健センター所長 栗本 真弓 氏

①マンモモデルを使用した勉強会

②グループディスカッション テーマ：「乳がん啓発活動について」

各グループ代表総括発表

※平成29年度みえ・花しょうぶサミットが発行致しました、上記パンフレット（本当に有効ながん検診とは～乳がんの脅威から身を守るために～）を当日の参加者に配布致しました。

女性懇話会役員会開催



女性懇話会役員会風景

12月20日（水）に女性懇話会役員会を生月（津市）にて、7名の参加者で開催致しました。

伊藤代表（伊藤印刷株）の挨拶に続いて会議が行われました。

今年の活動報告の後、来年の活動内容・スケジュール案の説明が事務局よりあり、スケジュール案が承認されました。

階層別研修第2回「部下育成講座」

～グローバル時代に求められるビジネスパーソン像と管理者の育成～



講義風景

11月10日（金）プラザ洞津「明日香の間」において、階層別研修第2回「部下育成講座」を参加者28名で開催致しました。講師は(株)ヒューマンブレイン代表取締役の稲垣正己氏を講師にお迎えし、前回の振り返り（特にパラダイムチェンジ）を行い、その後、前回、台風の影響で中断となった残りのPOWER診断を行い、自分が組織の活力化に向けて管理者

として周りにどんなPOWERで影響を与えているか診断しました。診断後、タイプ別診断を行い、自分のタイプの特徴を理解し、対人関係を良好にする為のポイントを学んで頂きました。後半は本来の第2回目に移り、「あなたは、人の話を聴いていますか？」として傾聴テストを行いました。管理者として部下・後輩の話を本当に聴いているか確認し、また、部下の状況を把握して、実際に部下育成計画を立てながらグループで討議を行いました。今回は、変化適応力を強化するために先入観や思い込み、偏見、ブライミング等、良くないパラダイムを払拭し、自分自身のマネジメントスタイルを磨き上げる事を学んで頂いた講座でありました。尚、前回の台風の影響もあり特別なプログラム編成となり、講義時間も30分延長して頂きました。

■主なプログラム

- 求められる人財の変換 • POWER診断 • タイプ別診断
- 管理者として部下・後輩の話を本当に聴いているか（傾聴テスト）
- 部下状況把握 • 部下育成計画書作成



講義する稲垣講師

新入社員フォロー研修第2回「チームワークを大事にする新人育成」



予算獲得ゲーム風景

10月26日（木）プラザ洞津「孔雀の間」において、新入社員フォロー研修第2回「チームワークを大事にする新人育成」を参加者35名で開催致しました。講師は(株)ソ・ラボ代表取締役の山田将史氏と同じく今尾容子氏の2名の講師をお迎えしました。前半は入社して約7ヶ月が経過し、前回の振り返りを行い、自分自身で学んだこと・気づいたことを確認しました。その後、2人ずつ向かい合い傾聴トレーニングを行い、発信力について講義が行われました。後半は、グループに分かれてゲームを2つ行いました。今年度は参加人数が多い為、2人の講師のもと、各4つのグループに分かれ、予算獲得ゲームを行いました。このゲームは各グループが不動産会社となり、社長等役割を決め、他のグループと交渉・駆け引きなど知恵を戦わせていく体験ゲームです。ゲームの大きな目的は、①目的を共有する②相手の「心情」を具体的に伝える③相手の話を聴き、理解しようとする姿勢④部分最適でなく全体最適で考える、この4つとなっております。皆さん入社から約7ヶ月が経過し、初回の表情とは違い、社会人らしさが出ておりました。また、前回とは違うグループ分けを行っているため、新しいメンバーでお互い真剣に自分の意見を発信していました。

予算獲得ゲーム風景

■研修の目的

- ①発信力 ②傾聴力 ③柔軟性 ④状況把握力 ⑤規律性 ⑥ストレスコントロール
ルール

- 礼儀礼節を守る • 時間厳守 • 反応する（聴く、姿勢）• 全員で助け合う

今日を素晴らしい1日にするために

- 積極的に「今・ここ・自分」→たくさん発言し、たくさんチャレンジし、そして失敗すること！
- メモをする • シェア（共有）する



講義する山田講師

インターンシップ事後研修会



グループディスカッション風景

り手市場となり、採用を意識したインターンシップを実施する企業が増える各企業の就職活動期間は短期化が進む等、傾向と対策のお話を頂きました。引き続き企業が求める人材像や就活についてお話し頂き、自己PRを作成致しました。

2つのテーマのグループディスカッションでは白熱した討論の後、討議結果をまとめた内容をグループの代表が発表しました。全グループからどのグループが良かったかを、当日参加されていた各大学のキャリアセンターの職員の方々の得票により決定されました。優勝グループ（Gグループ）には吉井氏から優勝商品（「就活にきっと勝つ！」と言う事で「キットカット」）が渡されました。

最後に総評が述べられ、学生たちの熱気の残る中、インターンシップ事後研修会が閉会しました。



講演する吉井講師

10月14日（土）プラザ洞津「末広の間」にてインターンシップ事後研修会を開催致しました。当日は今年インターンシップを体験した学生を中心に、約60名の参加がありました。最初に「インターンシップ経験を就職に活かす～自分の強みを伸ばし、納得内定へ～」と題して、昨年に引き続き(有)トーカイマネジメントアソシエーツ キャリアカウンセラーの吉井優貴氏から、大学で就職支援に携わってきたプロの立場から様々なアドバイスを頂きました。2019年卒の採用活動に変更はないものの、昨年以上に売



吉井講師より優勝商品を渡されるGグループ



発表風景

年末調整実務セミナー



年末調整実務セミナー風景



講演する今井講師

11月2日（木）プラザ洞津「明日香の間」において、「年末調整実務セミナー」を開催致しました。当日は26名の参加があり、講師の今井富久翁税理士から前半・後半に分けて講義が行われました。初めて担当される方も参加されていた為、年末調整とは何かを説明され、特に各種控除について詳しく説明がありました。

その後、手順と例に基づいて実際に計算が行われました。続いて、「年末調整Q&A」では想定される質問が書かれたテキストをもとに解説し、最後に個別での質問時間を設けました。皆さん今年は特に質問が多数出ていました。

三重県「産・学」就職情報交流会

12月11日（月）プラザ洞津にて、三重県「産・学」就職情報交流会を109名の参加者で開催致しました。今回は約3年ぶりの開催で、以前は1泊2日で開催しておりましたが、今回は半日に凝縮しました。前回より約3年が経過し、学校・企業それぞれの担当者の人事異動等もあり、再度、人的ネットワークを構築して頂く為の交流会となりました。後半の名刺交換会は、ブースを設けずにフリーと致しました。また、第1部



「産・学」就職情報交流会風景

では今年は何と言っても「働き方改革」がキーワードであります。これは採用活動においても重要な事項となっており、これに伴う基調講演をして頂きました。企業側も新卒採用の超売り手市場を反映して、北勢地域を中心に多くの参加となりました。参加者からは「学生の実際の意見やデータ、若者とのコミュニケーションの取り方を具体的に話して頂いて良かった」等好評でありました。



名刺交換会風景

（内容）

第1部：「働き方改革推進の為、企業側の学生に対する効果的な対応の仕方」

講師：名古屋学院大学商学部商学科教授 高木 直人 氏

第2部：「名刺交換会」

※大学・短大・高専、高校に分かれての、フリーでの名刺交換会



講演する高木講師

第19回三重県経営者協会会員親睦コンペ

12月12日（火）三重カンツリークラブにおいて、第19回三重県経営者協会会員親睦コンペが開催されました。21名（IN 3組・OUT 3組）が参加され、熱戦の結果、優勝者は和田山久司氏（株）ミエスレート 代表取締役社長に決まり、岡本顧問より優勝トロフィー並びに優勝賞品が授与されました。

今回は、初参加の方も見え、皆さんプレーをしながら懇親を深められました。



経協コンペ参加者集合写真



優勝商品を岡本顧問（右）より授与される和田山氏（左）

【順位表】（敬称略）

順位	氏名	会社名・職名	GROSS	H'CP	NET
優 勝	和田山久司	(株)ミエスレート 代表取締役社長	90	15.6	74.4
準優勝	鈴木 利也	(株)ガスリビング三重 総務部長	101	26.4	74.6
第3位	岡本 直之	三重交通グループホールディングス(株) 代表取締役会長（三重県経営者協会 顧問）	105	30.0	75.0
第4位	竹林 憲明	三重トヨタ自動車(株) 代表取締役社長	97	21.6	75.4
第5位	吉川 秀治	日本労働組合総連合会三重県連合会会長	99	22.8	76.2

※同スコアの場合、年長者を上位とする。

働き方改革フォーラム



フォーラム風景①

て頂きました。第3部では今回初めてフォーラム形式で行い、主催者である三重県の藤川課長と第2部でご講演頂きました大津氏の両名をパネラーとしてお迎えし、県として企業に求める働き方改革や、社労士として多くの顧問先での働き方改革の成功事例・失敗事例等をお話し頂き、有意義なフォーラムとなりました。



主催者挨拶をする
藤川課長



講演する中西講師



フォーラム風景②

(内容)

第1部：「働き方改革を進めるためのアンガーマネジメント」

講師：グリーンストック(株) アンガーマネジメントファシリテーター 中西 恵氏

第2部：「過重労働対策で企業の労働時間管理はこう変わる」

講師：社会保険労務士法人名南経営 代表社員 大津 章敬氏

第3部：「働き方改革フォーラム」

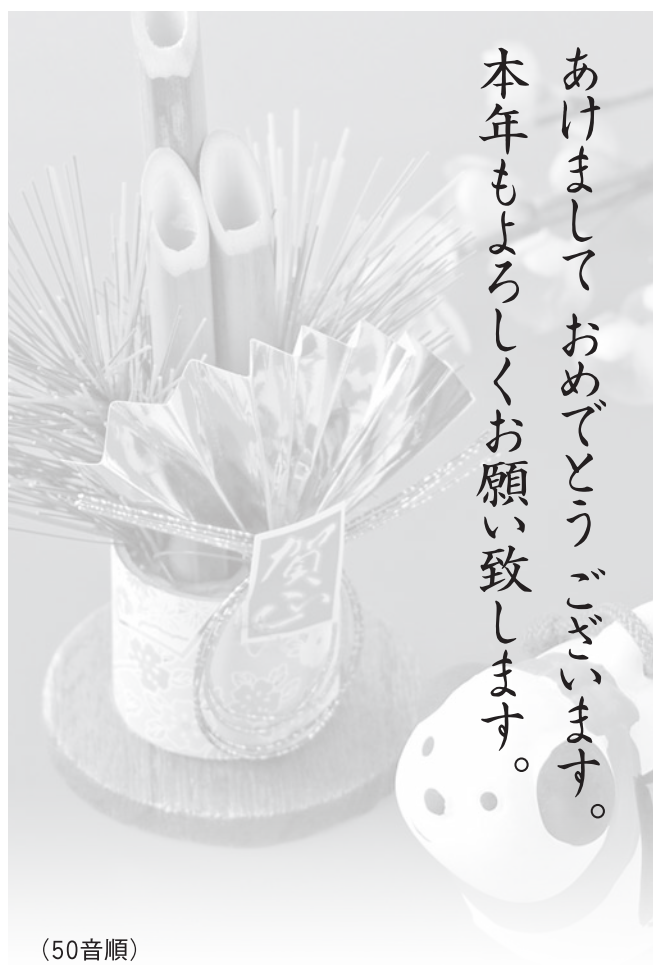
ファシリテーター：三重労使雇用支援機構 中村 和仁

パネラー：三重県雇用経済部雇用対策課長 藤川 和重

社会保険労務士法人名南経営 代表社員 大津 章敬氏



講演する大津講師



あけましておめでとうございます。
本年もよろしくお願い致します。

(50音順)

三重県経営者協会

会 長	小 倉 敏 秀
副 会 長	小 川 謙
副 会 長	川 村 則 之
副 会 長	伊 藤 恵 子
副 会 長	水 野 正 信
副 会 長	原 千 秋
副 会 長	駒 田 美 弘
副 会 長	田 山 雅 敏
専 務 理 事	西 場 康 弘

株式会社 R&E コンサルタント
経営 コンサルタント
 (経営・労務・人財育成・地域活性化・成長戦略)
 代表取締役 小 林 吉 光

旭鍍金株式会社

代表取締役社長 中 山 敏
 TEL 059-234-9555

イメージ クリエイト
想像を創造する
各種印刷からホームページなどのデジタル関連商品まで幅広いメディアに対応して、
 皆様の情報発信のお手伝いをいたします。
株式会社 アイブレーン
 TEL 0596-27-1111 (代) 代表取締役 楠木 裕子

フィッシング遊



アサヒレジャー株式会社

代表取締役社長 上 野 精 一

株式会社 福

代表取締役社長 濱田 勝子

アミカン株式会社 東洋工業株式会社

代表取締役 伊 藤 勘 作

〒514-0031 津市北丸之内20
株式会社 朝 日 屋
 代表取締役 香 田 佳 永

M-EMS認証取得工場
 印刷のプロフェッショナル
株式会社 伊 勢 出 版
 代表取締役 磯 貝 健

 伊勢新聞社 代表取締役社長 小林 千三	株式会社 おやつカンパニー 代表取締役社長 手島 文雄
 伊勢赤十字病院 病院長 楠田 司	 ふれあい・たいせつに ぎゅーとら 代表取締役 清水 秀隆
ISO27001 情報管理国際認証取得  総合印刷・出版 伊藤印刷株式会社 代表取締役 伊藤 誠司	株式会社 近鉄・都ホテルズ 志摩観光ホテル 取締役 三嶋 庸弘 総支配人
今村会計事務所 所長・税理士 今村 元宣	 MIYAKO HOTELS 津都ホテル 株式会社 近鉄・都ホテルズ 総支配人 瀬谷 周一
人を取り巻く全ての予防衛生を支援します 株式会社 イムテス 代表取締役会長 小林 眞一郎 代表取締役社長 山口 久美	 MIYAKO HOTELS 四日市都ホテル 株式会社 近鉄・都ホテルズ 総支配人 玉井 啓之
おいしい! の笑顔をつくる  井村屋グループ株式会社 代表取締役会長(GEO) 浅田 剛夫 代表取締役社長(COO) 大西 安樹	 農紫屋 クラギ株式会社 代表取締役 竹内 秀樹
創業34年 ～ありがとうございます～ ～まごころこめて～製造・物流サポートします  オーユース株式会社 代表取締役 木下 隆生	 学校法人 皇學館 皇學館大学 皇學館高等学校・皇學館中学校 理事長 佐古 一洸
冷凍／空調／電気 工事・メンテナンスなら 「地域密着!顧客満足度120%」の 有限会社 奥田冷機 取締役会長 奥田 幸広	御在所  GOZAISHO ROPEWAY ロープウェイ 取締役社長 辻 智幸

人と環境を大切にする 技術開発型企业 —当社は専用工作機械及び金型部品メーカーです— 株式会社 小林機械製作所	おかげさまで 創業100年 響いてこそ技術 SINFONIA 100 創業1917年 シンフォニアテクノロジー株式会社 執行役員 伊勢製作所長 御村 恭至
～愛知・三重・静岡・東京～ 株式会社 三交イン 取締役社長 大 川 智 弘	SUZUKA UNIVERSITY OF MEDICAL SCIENCE 鈴鹿医療科学大学 SUMS 理事長 高 木 純 一 学 長 豊 田 長 康
三交興業株式会社 名阪関ドライビング 名阪上野ドライビング 取締役社長 藤 垣 広 希	学校法人 享栄学園 鈴鹿大学 鈴鹿大学 短期大学部 学 長 市 野 聖 治
安全で快適な暮らしをサポート 三交コミュニティ 取締役社長 安 藤 澄 人 TEL: 059-253-4051	住友電装株式会社 代表取締役執行役員社長 川 井 文 義
安全・安心・快適 株式会社 三交タクシー 取締役社長 鯉 形 幸 一	株式会社 ZTV 取締役社長 田 村 憲 司
株式会社三交ドライビングスクール 四日市自動車学校 名四自動車学校 取締役社長 今 藤 良 雄	南部自動車学校グループ 共感警備の (株)セフティージャパン 代表取締役社長 加 藤 有 翔
三交不動産株式会社 取締役社長 高 林 学	助成金・就業規則承ります 社会保険労務士法人 総合経営労務センター 代表社員 高山 直樹 TEL: 059-222-1198 FAX: 059-222-2918
jinzai ikusei CENTER 特定非営利活動法人 人材育成センター 理事長 日 紫 喜 良 守	クスリをもっと、人の近くへ。 中外医薬生産株式会社 代表取締役社長 田 山 雅 敏

感動空間創造企業 TSUJIKOUMUTEN 株式会社辻工務店 http://www.tsujikoumuten.co.jp 代表取締役 辻 正敏	 湯めぐり海百景 鳥羽シーサイドホテル 代表取締役社長 武 藤 隆 行
お役に立つ、そして寄り添い共に行動する  津商工会議所 会 頭 岡 本 直 之	子どもたちが安心、安全に暮らせる 地域社会の実現に向けて・・・  特定非営利活動法人 どんぐりの会 理事長 木 崎 芙 美
魅力好感百貨店 株式会社 津松菱 代表取締役社長 西 村 房 和	ナガシマリゾート 長島観光開発株式会社 取締役社長 水 野 正 信
東海労務経営管理センター 社会保険労務士・行政書士 松 田 貢 TEL 0598-51-0353 FAX 0598-51-0334	中辻医科器械株式会社 代表取締役 三 宅 努
TOSHIBA Leading Innovation >>> 東芝メモリ株式会社 四日市工場 取締役 生産本部長兼四日市工場長 松 下 智 治	 21世紀のエネルギーを考える会・みえ 会 長 小 林 長 久 津市栄町3丁目248番地 きりんセカンドビル302号 TEL 059-229-3790
東邦ガス株式会社三重支社 支社長 大 津 光 浩	日東カストディアル・サービス株式会社 三重支店 支店長 増 井 隆 志
快適以上を、世の中へ。 TOENEC 中部電力グループ 株式会社 トーエネック 三重支店 執行役員支店長 山 内 康 広	日本トランスシティ株式会社 代表取締役会長 小 林 長 久
有限会社 トーカイマネジメント アソシエイツ 代表取締役 吉 井 清 二	ネッツトヨタ三重株式会社 代表取締役社長 都 築 幹 典

野村證券株式会社  津 支 店 支店長 下 田 学 野村のコンサルティング	〈昭35.10.開場〉  株式会社 三重カンツリークラブ 取締役社長 飯 田 爾
パーソルテンプスタッフ株式会社 津オフィス 代表取締役社長 和 田 孝雄	「三重から世界へ」!! 信頼される製品づくりに努めています。 三重金属工業株式会社 代表取締役社長 西 本 正
人と企業を誠意で結びます  株式会社パソピア 代表取締役 味岡 康弘 TEL 059-213-6733	「快適なタクシー」  三重近鉄タクシー株式会社 代表取締役社長 大西 史人
百五銀行 取締役頭取 伊 藤 歳 恭 FRONTIER BANKING	三重県観光開発株式会社 取締役社長 宮 脇 栄 治
公立学校共済組合津宿泊所 プラザ洞津 支配人 鎌 田 敏 明 TEL 059-227-3291	三重交通株式会社 取締役社長 雲 井 敬
 株式会社 松阪カントリークラブ 代表取締役社長 伊 藤 栄 治 TEL:0598-29-2911	 三重交通商事株式会社 取締役社長 梅 山 治 久
MCC CORPORATION 株式会社 松阪鉄工所 代表取締役社長 加 藤 賢 治	がんばる企業を応援します。  三重県信用保証協会 会長 植 田 隆
三重いすゞ自動車株式会社 代表取締役社長 川 村 則 之	地域にイノベーションを  国立大学法人 三重大学 学 長 駒 田 美 弘

 三重トヨペット株式会社 取締役社長 川 喜 田 久 TEL059 (227) 7171 (代表)	 株式会社 安永 Yasunaga 代表取締役社長 安 永 暁 俊
Think Next Security  MIWA 美和ロック株式会社 http://www.miwa-lock.co.jp/	消防防災で安全安心を創る 株式会社 山 口 商 会 代表取締役社長 山 口 久 彦
地域の安全と快適を約束する 警備事業・バス事業 (名阪交通バス) 株式会社 メイハン 代表取締役 田 畑 博	Since1988. 開学30周年 学校法人 暁 学 園 四日市大学 理事長 丸 山 康 人 学 長 岩 崎 恭 典
安田小児科内科 理事長 安 田 尚 樹 TEL:0598-28-8828	三重県経営者協会 職 員 一 同





新会員の紹介

一般社団法人わくわくスイッチ

事業内容 人材に関する専門サービス・教育支援事業

代表者 代表理事 中村 憲和

所在地 四日市市中浜田町5-22

ルナハイツ四日市3A号室

電話 059-340-6233

FAX 059-340-6236

ホームページ <http://wakul.com/>



株式会社グリーンテック 鈴鹿営業所

事業内容 検査・測定・選別等の品質サポート業務

代表者 所長 佐藤 晋作

所在地 鈴鹿市道伯町2150-15

天豊ビル1F

電話 059-375-5737

FAX 059-375-5738

ホームページ <http://www.green-t.co.jp>



今井富久翁税理士事務所

事業内容 税理士

代表者 所長・税理士 今井 富久翁

所在地 津市栄町2-318

電話 059-227-7828

FAX 059-227-5652

ホームページ <http://www.kaikai-home.com/imai-tax/>



未来キャリア株式会社

事業内容 人材育成・教育（企業研修、採用コンサルタント、人事評価制度構築、助成金コンサルタント、組織キャリア開発）

代表者 代表取締役 日向 美穂

所在地 名古屋市中区丸の内1-11-33

電話 080-5138-7830

ホームページ <http://www.diamante1717.com/>



三重労働局委託事業

「専門家派遣・相談等支援事業」 をご利用ください！

対応内容

給与制度・給与体系を見直したいのですが…

販路拡大の方法について知りたいのですが…

業務改善助成金の適用申請をしたいのですが…

もう少し生産効率を上げたいのですが…

就業規則をしっかりとしたものにしたのですが…

その他
経営・労務に関すること…

無料

相談窓口はこちら

三重県最低賃金総合相談支援センター

〒514-8691 津市丸之内養正町4-1 森永三重ビル3F 三重県経営者協会内

☎0120-331-266 TEL・FAX 059-226-0033

http://miekeikyo.jp/ E-mail s-chingin@sage.ocn.ne.jp

詳しくは、三重県経営者協会のホームページをご確認ください。

れんらく・つうしん

人事・採用担当者勉強会のご案内

日 時 平成30年2月19日(月) 13:30～16:00
会 場 プラザ洞津 3階 孔雀の間 津市新町1-6-28
(津新町駅下車西へ徒歩3分) Tel 059-227-3291
参 加 会 費 ・労務管理改善協力委員会会員 無料
・三重県経営者協会会員企業1名につき3,000円
講演テーマ 「働き方改革による入社3年以内の若手人材の定着について」
・働き方改革とは ・働き方改革が企業にもたらす恩恵
・ちょっとした制度変更も改革に? ・若手定着のカギ
・成功事例あれこれ
講 師 株式会社O-GOE 代表取締役 杉山 豊 氏

お申込み
お問合せ先

三重県経営者協会

〒514-8691 津市丸之内養正町4-1 森永三重ビル3階

TEL:059-228-3557・3679

※詳細につきましては、当協会のホームページをご参照下さい。

ご存知ですか…こんな機関？

出向・移籍支援事業

「失業なき労働移動」をめざして

人材 送出 企業

- 人員に余剰感がある
- 雇用調整を検討している

- 一時的に仕事量が減り社員の出向先を探しておられる企業
- 支店閉鎖、工場閉鎖などで社員の移籍先を探しておられる企業
- 工場移転を計画されており人材の過不足が発生する企業
- 不採算部門があり人材の移動を考えておられる企業
- 事業規模の縮小を計画されている企業

産業雇用 安定センター 三重事務所

送出情報の
収集・登録

受入情報の
提供

受入情報の
収集・登録

送出情報の
提供

企業どうしの話し合い・面接

出向・移籍の成立

無料

人材 受入 企業

- 事業の拡大、欠員発生などにより、必要な要員を確保したい企業
- 新規部門に精通した人材を採用したい
- 経験豊富な即戦力の人材を確保したい企業

- 人員が不足している
- 人材の補充を検討している

当センターをご利用いただく場合は
前もってご連絡ください。

公益財団法人
産業雇用安定センター 三重事務所
TEL 059-225-5449

業務日誌 (2017・10・12)

事業名	とき	ところ
10月度理事会及び特別講演	10/5(木)	津都ホテル
中部経協三県連携事業 階層別研修 第2回「部下育成講座」 ～グローバル時代に求められるビジネスパーソン像と管理者の育成～	11/10(金)	ブラザ洞津
インターンシップ事後研修会	10/14(土)	ブラザ洞津
中部経協三県連携事業 新入社員フォロー研修 第2回「チームワークを大事にする新人育成」	10/26(木)	ブラザ洞津
年末調整実務セミナー	11/2(木)	ブラザ洞津
日本経団連「地方団体長議会」	11/13(月)	日本経団連会館
労務管理改善協力委員会 第2部会	11/20(月)	ブラザ洞津
平成29年度みえ・花しょうぶサミット	11/22(水)	三重県総合文化センター レセプションルーム
三重県経営者協会女性懇話会・津商工会議所女性会合同研修	12/4(月)	津商工会議所
三重県「産・学」就職情報交流会	12/11(月)	ブラザ洞津
働き方改革フォーラム	12/12(火)	ブラザ洞津
第19回三重県経営者協会会員親睦コンペ	12/12(火)	三重カンツリークラブ
女性懇話会役員会	12/20(水)	生月



三重県経営者協会

TEL 059-228-3557

FAX 059-228-3710

ホームページ

<http://miekeikyo.jp>

E-mail

info@miekeikyo.jp

〒514-8691 津市丸之内養正町4-1 森永三重ビル3F

平成30年1月25日 発行
発行人／三重県経営者協会